

# 香芝市環境基本計画（第二次）

自然豊かな環境が人とともにめぐるまち  
～ 市民と行政の『協働』で未来へつなぐ 環境香芝市 ～

## <達成状況報告書>

（令和6年度）

令和7年10月

香芝市

## <目次>

はじめに.....	1
第1 本計画の概要について.....	1
1 本計画の位置付け.....	1
2 本計画の期間.....	1
3 香芝市が目指す環境像.....	1
4 施策体系.....	2
(1) 施策体系の設定.....	2
(2) 施策体系の関係.....	3
5 進捗管理の指標.....	3
(1) 指標の設定.....	3
(2) 指標の目標達成状況の点検及び評価について.....	4
第2 令和6年度の評価結果について.....	5
1 評価区分ごとの結果について.....	5
2 基本目標別の指標目標達成状況について.....	5
(1) 基本目標別の指標達成状況の結果について.....	5
(2) 基本目標1「地域に根ざす自然環境を守り育みます」の結果について.....	6
(3) 基本目標2「人にやさしい環境づくりを進めます」の結果について.....	7
(4) 基本目標3「エネルギーや資源を大切にすライフスタイルに転換します」の結果について.....	9
(5) 基本目標4「さまざまな主体が連携して環境保全に取り組みます」の結果について.....	10
第3 指標設定のない主な取組の達成状況.....	11
1 達成状況の確認方法について.....	11
2 基本目標別の達成状況の結果まとめについて.....	11
第4 課題と今後の取組について.....	12

## はじめに

本市では、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成31年3月に香芝市環境基本計画（第二次）（以下、「本計画」という。）を策定した。本計画では、本市における将来の環境像を定め、その環境像を目指すために、基本目標、基本施策及び具体的な取組を設定している。本計画の推進に当たっては、各部局において毎年の基本施策等を実施し、その進捗や目標達成状況について、進捗管理指標を用いた点検及び評価を行うこととしており、本報告書は、当年度における点検及び評価結果をまとめたものである。

## 第1 本計画の概要について

### 1 本計画の位置付け

「香芝市環境基本計画」は、本市における環境施策に関する最上位計画であるとともに、まちづくりの最上位計画である「香芝市総合計画」を環境面から補完し具体化するものである。

また、本市が、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項を定めた環境面でのマスタープランとして位置付けられるものである。

### 2 本計画の期間

令和元年度から令和10年度までの10年間

		R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
本計画	計画目標	10年間										
	進捗確認		▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶

### 3 香芝市が目指す環境像

本計画では、本市が目指すまちづくり全体の方向性や、これまで目指してきた環境像との整合性及び意識調査により得られた市民の価値観の反映、社会情勢等を勘案し、将来の環境像を次のとおり設定している。

本計画 将来の環境像

自然豊かな環境が人とともにめぐるまち  
～ 市民と行政の『協働』で未来へつなぐ 環境香芝市 ～

香芝市環境基本条例

(前文)

私たちのまち香芝市は、二上山をシンボルに仰ぎ、緑あふれる丘陵や田園風景など古代よりの伝統文化に彩られる一方で、近年のめまぐるしい都市化の進展により、新しい文化が発展しつつあります。

このように、香芝市の持つ都市と自然の融合した良好な都市空間と生活環境は、市民の共通財産であり、これを守り育て、未来の世代に引き継いでいくことは、我々の世代に課された重要な使命であります。

しかしながら、近年の社会経済活動は、生活の利便性や物資の豊かさなどをもたらす一方で、身近な自然の減少、都市生活型公害の増加などを引き起こし、地球温暖化やオゾン層の破壊を生むなど、地球環境に大きな負荷を与え、すべての生物の生存基盤そのものを脅かしつつあります。

そこで、私たちは、愛するふるさと「香芝市」の自然環境を守り育て、持続可能で創造的な都市の発展を実現することが、究極的には、地球環境問題の解決につながっていくものであるということを通理理解として、市、事業者及び市民が互いに連携し、協働して率先的に行動することを誓い、この条例を制定します。

## 4 施策体系

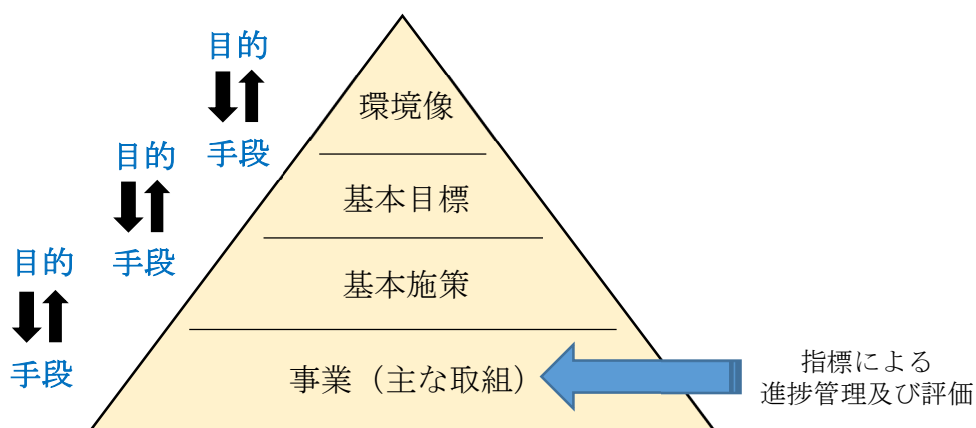
### (1) 施策体系の設定

基本目標を達成するため、基本施策と事業を次のとおり設定している。

環境像	基本目標	基本施策	事業
市民と行政の『協働』で未来へつなぐ環境香芝市	<b>【基本目標 1】</b> 地域に根ざす自然環境を守り育みます	1-1動植物の生息・生育環境の保全	①森林・農地の保全 ②生物多様性の保全 ③貴重な自然環境の保全
		1-2自然に触れ学ぶ場と機会の拡充	①自然と触れ合う学習の推進
	<b>【基本目標 2】</b> 人にやさしい環境づくりを進めます	2-1安全・安心な生活環境の保全	①大気環境の保全 ②水環境の保全 ③騒音・振動・その他の公害の防止
		2-2良好な都市景観の形成	①良好なまちなみの維持・整備 ②都市緑化の推進 ③環境美化の推進
		2-3歴史・文化の保全・活用	①地域の歴史・文化の保全・活用
	<b>【基本目標 3】</b> エネルギーや資源を大切にす ライフスタイルに転換します	3-1循環型社会の形成	①3Rの推進 ②廃棄物の適正処理の推進
		3-2地球温暖化対策の推進	①省エネルギー対策の推進 ②再生可能エネルギー導入の推進 ③フロン類の対策
	<b>【基本目標 4】</b> さまざまな主体が連携して環 境保全に取り組みます	4-1各主体の連携の促進	①情報発信の充実
			②環境学習・市民参加の推進

## (2) 施策体系の関係

上の層と下の層は、それぞれが「目的」と、それを成し遂げるための「手段」の関係にある。



## 5 進捗管理の指標

### (1) 指標の設定

本計画に基づき、各部局において基本施策及び事業を実施しているが、その進捗管理や達成状況の点検及び評価をするため、次のとおり定量的に評価できる指標及び目標を設定している。

基本目標	基本施策	指標	現況 (平成29年度)	目標	
				令和5年度 まで	令和6年度 から
【1】 地域に根ざす自然環境を守り育みます	1-1 動植物の生息・生育環境の保全	特定農地の登録面積	14a	10a/年 以上	80a
		新たな担い手への農地集積・集約化の面積	0.4ha	香芝市農業委員会「農地等の利用の最適化推進に関する指針」目標数値	
		遊休農地の発生防止・解消の面積	0.7ha		
		農産物等の地産地消に関する催しの実施回数	1回	1回/年 以上	
		不適切な管理である生産緑地	9地区	0地区	
		農業用施設整備に関する説明会の実施回数	1回	1回/年 以上	
	1-2 自然に触れ学ぶ場と機会の拡充	地域の特徴を活かした講座・イベントの開催回数	1回	1回/年 以上	
		市民等との協働による二上山の清掃活動の実施回数	1回	1回/年 以上	
【2】 人にやさしい環境づくりを進めます	2-1 安全・安心な生活環境の保全	大気汚染物質（NO <sub>2</sub> ）の環境基準達成率	100.0%	100.0%	
		下水道普及率	70.1%	89.7%	
		下水道接続率	91.7%	95.0%	
		市内主要河川の水質（BOD）の環境基準達成率	68.8%	100.0%	
		自動車騒音及び環境騒音の環境基準達成率	100.0%	100.0%	
	2-2 良好な都市景観の形成	違反屋外広告物の簡易除却の実施	4回	3回/年 以上	
		公園面積	40.8ha	42.4ha	
		未利用ため池の親水公園整備の実施	3箇所	4箇所	

		自治会による公園・緑地の維持管理箇所数	47箇所	47箇所		
		自治会による美化清掃の支援	2回	2回/年 以上		
	2-3 歴史・文化 の保全・活 用	文化財に関する巡視回数	12回	12回/年 以上		
		文化財に関する清掃活動	6回	6回/年 以上		
【3】 エネルギー や資源を大 切にするラ イフスタイ ルに転換し ます	3-1 循環型社会 の形成	ごみの排出量（家庭系1日一人当たり）の低減	666 g/人・日	「香芝市総合計画」 めざそう値		
		リサイクル率（家庭系）の向上	16.3%			
	3-2 地球温暖化 対策の推進	市の事務事業による温室効果ガス総排出量の削減（上段：排出係数固定/下段：排出係数変動）	3,572 t - CO <sub>2</sub> 4,218 t - CO <sub>2</sub>	「香芝市地球温暖化対策実行計 画」目標数値		
		「香芝市地域公共交通網形成計画」の策定	—			計画期間内に策定
		最新の排出ガス規制適合車の導入	—			計画期間内に導入
【4】 さまざまな 主体が連携 して環境保 全に取り組 みます	4-1 各主体の連 携の促進	環境をテーマとした情報の発信	—	テーマを決め毎月実施		
		市による学校での環境学習の実施	2回	2回/年 以上	10回/年 以上	
		環境保全活動団体による環境学習の実施	1回	1回/年 以上		
		自然や歴史・文化とふれあう講座・講演会の開催	6回	6回/年 以上		
		ふれあいフェスタ等での環境意識向上に向けた取組実施	1回	1回/年 以上		
		学校給食における地域食材利用の取組実施	1回	1回/年 以上	20回/年 以上	

## (2) 指標の目標達成状況の点検及び評価について

指標の目標達成状況の点検及び評価の方法については、評価年度に実施した事業内容、その成果等を総合的に判断し、各担当所管課において、目標達成度を次のAからEまでのうちから選択した上で、それぞれ実施した事業内容及びその成果並びに次年度に向けた課題を記述式でまとめている。

目標達成度 (区分)	事業の状態	
	指標設定がある取組	達成率 (%)
A	目標が達成された	100
B	目標未達成だが、取組・進捗状況（高い）	75
C	目標未達成だが、取組・進捗状況（中程度）	50
D	目標未達成で、取組・進捗状況（低い）	25
E	未着手	0

評価に対するコメント

【視点】①実施した事業内容及びその成果  
②次年度に向けた課題

達成状況の確認には、AからEまでを達成率 (%) に読み替えて集計

## 第2 令和6年度の評価結果について

### 1 評価区分ごとの結果について

第1の5で設定した指標の評価区分ごとの結果については、次のとおりである。

目標達成度（区分）		件数	割合（%）
A	目標が達成された	19	61.3
B	目標未達成だが、取組・進捗状況（高い）	5	16.1
C	目標未達成だが、取組・進捗状況（中程度）	7	22.6
D	目標未達成で、取組・進捗状況（低い）	0	0.0
E	未着手	0	0.0
合 計		31	100.0

### 2 基本目標別の指標目標達成状況について

#### (1) 基本目標別の指標達成状況の結果について

基本目標別の指標達成状況の結果については、次のとおりである。

基本目標	指標数	達成率
基本目標 1	8	84.3%
基本目標 2	12	81.2%
基本目標 3	5	75.0%
基本目標 4	6	100.0%
	31	84.7% ※少数第2位切捨て

(2) 基本目標 1 「地域に根ざす自然環境を守り育みます」の結果について

●【基本目標1】 指標目標達成状況		
①環境指標数	8	(CD 1~8)
②総コマ数	32	(4コマ [1指標につき] × 8指標)
③達成コマ数	27	(塗りつぶされたコマ数)
④達成率 (%)	84.3%	( ③ / ② ) ※少数第2位切捨て

基本施策	事業	主な取組	指標		目標値 令和6年度実績値	目標達成度 (A~E)	達成率 (%)					① 実施した事業内容とその成果 ② 次年度に向けた課題	担当課	
			CD	項目			25	50	75	100	%			
1-1動植物の生息・生育環境の保全	①森林・農地の保全	「特定農地貸付事業」による遊休農地の有効活用、事業協力者の参入促進を進めます。	1	特定農地の登録面積	【R5まで】 10a/年 以上 【R6から】 80a	A					100	① 市内農地を無償で特定農地として登録してもらい、市民へ貸出をして遊休農地の有効活用を行ったことにより、登録面積を維持することができた。 ② 次年度も登録面積を維持する。	農業委員会 農林課	
					80 a									
		「農地利用最適化交付金事業」による農地利用の最適化を推進します。	2	新たな担い手への農地集積・集約化の面積	香芝市農業委員会「農地等の利用の最適化推進に関する指針」目標数値 (0.35ha/年)	C					50	① 農地中間管理機構との連携を強化し、農地の出し手と受け手の情報共有を図り、担い手への農地利用の集積及び集約を推進したことにより、令和6年度は、1名の担い手に集積した。 ② 担い手が少なく継続して達成することが難しいことから、新規就農者支援の在り方を検討していく。		農業委員会
					0.1 ha									
		遊休農地の発生防止・解消の面積	3	香芝市農業委員会「農地等の利用の最適化推進に関する指針」目標数値(2ha)	C					50	① 農地パトロールを実施し、市内農地の現況を確認し遊休農地の解消に努めた。 ② 遊休農地の新規発生及び再発生を防ぐため、普段から農地を注意深く見回り、土地所有者に対して積極的に声掛けを実施する。	農業委員会		
					3.0ha (1.3ha)									
	農産物等の地産地消を促進します。	4	農産物等の地産地消に関する催の実施	1回/年 以上	A					100	① 市民農園の利用者に対し、野菜作りについての講習会を行った。 ② 次年度も継続的に実施する。	農林課		
				1回										
	生産緑地の適正管理パトロールを実施し、耕作放棄地に対して指導を行います。	5	不適切な管理である生産緑地(地区:H28年値/9地区)	0 地区	B					75	前年度の調査基準以上に厳しい基準を設け、現地調査(生産緑地パトロール)を実施し、生産緑地として管理が不十分な地区について、是正を促した。その結果、28地区の管理不全のうち、27地区は改善されたが、1地区(非特定生産緑地)は、所有権移転の登記が済んでおらず、改善通知を送付できなかった。 ② 今後も引き続き現地調査を行い、不適切な管理の土地について指導を実施する。また、令和6年度のパトロールで管理不全の農地(1地区)は、所有者の住所を把握でき次第、指導を行っていく。	都市計画課		
				1地区 (実施数:28地区)										
②生物多様性の保全	旗尾池を始めとする多くのため池について、本市の特色ある水環境として適切に保全・活用していくことを支援します。	農業用施設整備に関する説明会の実施回数	1回/年 以上	A					100	① 説明会の実施及び農業用施設管理者の資料の配布により周知を行った。また、改修が必要な施設について現地確認を行い、改修に要する費用の補助を行った。 ② 適切に維持管理するように支援していく。施設の老朽化に伴い改修及び補修案件の増加が見込まれる中、優先順位を付け整備していく必要がある。	農林課			
			1回											
1-2自然に触れ学ぶ場と機会の拡充	①自然と触れ合う学習の推進	市民等との協働により、地域の特色を活かした講座・イベントの開催回数	1回/年 以上	A					100	① 市政出前講座等により、郷土の歴史や文化財等の学習機会の充実を図っており、令和6年度は1件の出前講座を実施した。 ② 継続して事業を進める。	文化財課			
			1回											
	すぐれた自然景観の保全のため、市民等との協働により、二上山の清掃登山活動等を行います。	市民等との協働による二上山の清掃活動の実施回数	1回/年 以上	A					100	① 市民等と清掃しながら二上山を登る年中行事「岳のぼり」を4月23日に実施し、72名の参加があった。岳のぼりでは、清掃活動をしながら登山を楽しめるよう、参加者に受付でゴミ袋を配布した。 ② 二上山美化促進協議会(香芝市、葛城市及び太子町)による岳のぼりを継続して実施する。	商工観光課			
1回														

(3) 基本目標2「人にやさしい環境づくりを進めます」の結果について

●【基本目標2】 指標目標達成状況		
①環境指標数	12	(CD 9~20)
②総コマ数	48	(4コマ [1指標につき] × 12指標)
③達成コマ数	39	(塗りつぶされたコマ数)
④達成率 (%)	81.2%	( ③ / ② ) ※少数第2位切捨て

基本施策	事業	主な取組	指標		目標値	目標達成度 (A~E)	達成率 (%)					① 実施した事業内容とその成果 ② 次年度に向けた課題	担当課
			CD	項目	令和6年度実績値		25	50	75	100	%		
2-1安全・安心な生活環境の保全	①大気環境の保全	奈良県と連携し、奈良県生活環境保全条例等に基づく大気汚染の監視、指導を行っていきます。	9	大気汚染物質(N02)の環境基準達成率	100.0%	A					100	令和7年2月に、市内13か所において大気汚染簡易測定キットによる大気汚染濃度の測定を実施し、環境① 基準達成状況を把握した。結果としては、昨年度と同様に超過箇所は無く、100%の達成率となった。また、ホームページにおいて情報発信を行った。	環境政策課
					100.0%							② 次年度においても今回の結果を維持するため、広報紙等でエコドライブや公共交通の利用促進など、大気汚染物質の減少に向け引き続き情報を発信していく。	
	②水・土壌環境の保全	下水道の計画区域内における未整備区域の解消にむけて普及を促進します。	10	下水道普及率	89.7%	C					50	穴虫、逢坂、上中、良福寺、五位堂、狐井、北今市及び下田西において、下水道管渠(きよ)約3.1km① の整備を実施したが、社会資本整備総合交付金の配分率の低下及び繰越工事により、目標値に届かなかった。	下水道課
					78.4%							② 穴虫、逢坂、畑、上中、良福寺及び北今市において、下水道管渠約2.1kmの整備を実施する。	
		下水道供用区域内における未接続世帯の解消にむけて、きめ細やかな啓発活動を実施して早期接続を促します。	11	下水道接続率	95.0%	B				75	① 公共下水道未接続者への普及啓発を専門に行う「下水道接続推進員」を雇用し、啓発活動を行っている。それにより、令和6年度において、92件の未接続が解消されている。	下水道課	
					91.0% (92件)						② 接続率向上のため、未接続世帯への訪問は1地域につき1回であったが、訪問の結果対面で普及啓発できなかった案件に関しては、曜日や時間帯を変え訪問回数を増やす。		
	奈良県と連携し、奈良県生活環境保全条例等に基づく水質汚染の監視、指導を行っていきます。	12	市内主要河川の水質(BOD)の環境基準達成率	100.0%	C				50	9月と2月の年2回、市内主要7河川8箇所において水質検査を実施した。令和5年度に比べ基準値以下の達成率は下降し、夏季(9月)については達成率が100%、冬場(2月)については、25%の達成率であった。	環境政策課		
				62.5%						② 冬季の水質は、夏季と比較すると雨水や農業排水等が少なく、BOD値の高い生活排水等を希釈する水量がないこと等の要因により、悪化しやすい傾向にある。水質改善強化月間に合わせ、広報にて生活排水等の改善策について、引き続き周知啓発に努める。			
	③騒音・振動・その他の公害の防止	自動車騒音及び環境騒音の定期的な調査を実施します。	13	自動車騒音及び環境騒音の環境基準達成率	100.0%	B				75	自動車騒音は市内4箇所、環境騒音は市内13箇所です。日中及び夜間の騒音測定を実施し、環境基準達成状況を把握した。結果としては、自動車騒音測定は、環境基準に全ての箇所及び昼夜ともに基準値以下であった。しかしながら、環境騒音測定では夜間、1箇所です。基準を超過していた。	環境政策課	
					97.1%						② 今年度で超過した箇所については、測定時の単車走行状況が測定結果に影響した。引き続き指標達成ができるよう自動車騒音や環境騒音に関する広報を行い、引き続き啓発に取り組む。		
2-2良好な都市景観の形成	①良好なまちなみの維持・整備	良好な沿道環境を保全するため、市民等との協働により、違反屋外広告物の除却を行います。	14	違反屋外広告物の簡易除却の実施回数	3回/年 以上	B				75	① 2回実施した。全て貼り紙だったので、告示することなく廃棄した。	都市政策交通課	
					2回						② 年3回の簡易除却を目標にし、道路管理者及び電柱管理者とも連携を図りながら、違反広告物の除却に努める。		
②都市緑化の推進	公園・緑地について、スポーツ公園や街区公園整備等、奈良県と連携を図りながら、緑に恵まれた交流と憩いの空間の創出を進めていきます。	15	公園面積	42.4 ha	C				50	【都市計画課】みどりの基本計画に基づき、関係所管と連携し、施策の推進を行い、年度末には庁内にて進捗管理を行った。市民に対して、LINEを用いてアンケートを行い、市内におけるみどりの満足度等について把握した。	都市計画課 土木建設課 公園道路管理課		
				41.7 ha						また、香芝市総合公園の整備に向けて、基本構想を策定した。 【土木建設課】香芝市スポーツ公園整備事業に係る造成工事及び補償調査業務を実施した。 ② 【都市計画課】みどりの基本計画に基づき、関係所管と連携しながら施策を推進していく。また、香芝総合公園整備に向けて官民連携の可能性を探り、併せて『香芝市総合公園基本計画』の策定を行う。 【土木建設課】香芝市スポーツ公園のプール区域を先行して供用するため、令和7年末の工事完了に向け、施設建築工事を進める。 【公園道路管理課】遊具等設備の老朽化が多々あり、計画的に改善していく必要がある。			

基本施策	事業	主な取組	指標		目標値 令和6年度実績値	目標達成度 (A~E)	達成率 (%)					① 実施した事業内容とその成果 ② 次年度に向けた課題	担当課	
			CD	項目			25	50	75	100	%			
2-2良好な都市景観の形成	②都市緑化の推進	未利用のため池等、身近な水辺等を活用したみどりの拠点の保全と活用を進めます。	16	未利用ため池の親水公園整備箇所	4箇所	A	100					100	① 令和2年度中に目標値を達成したため、令和6年度は実施していない。 ・今池親水公園 平成12年度 ・新池親水公園 平成17年度 ・逢坂新池 平成22年度 (平成21年度繰越) ・尼寺コモ池 令和2年度 (令和元年度繰越) ② 目標値は達成したが引き続き、整備箇所等の検討を行う。	土木建設課
					4箇所									
		市民等との協働により、公園樹木や街路樹等の維持管理や緑化活動を進めます。	17	自治会による公園・緑地の維持管理箇所数	47箇所	A	100					100	① 新たに1箇所(初田公園)を追加し、49箇所について、自治会に委託を実施した。 ② 地域住民の高齢化に伴い、公園の維持管理委託を負担に感じる自治会が増えているため、委託単価の増額を行い自治会の負担を軽減する必要がある。	公園道路管理課
	49箇所													
	③環境美化の推進	まちの美観向上のため、地域の清掃活動等を支援します。	18	自治会による美化清掃の支援	2回/年 以上	A	100				100	① 5月及び10月において、自治会との調整を図り美化清掃活動を支援した。地域の美観を保つため、ごみ袋配付、処理等を実施した。 ② 美化清掃による地域の清掃活動が活発になるよう、自治会未加入者に対する啓発方法について検討する必要がある。	環境政策課	
					2回									
2-3歴史・文化の保全・活用	①地域の歴史・文化の保全・活用	古くからの町並みや古墳等、歴史的経緯により形づくられた景観の保全を図ります。	19	文化財の巡視回数	12回/年 以上	A	100				100	① 職員による不定期の監視をはじめ、市民選出の奈良県文化財保護巡視委員の毎月1回の定期的な巡視活動により、文化財の現状確認及び文化財の無届開発行為を未然に防ぐことができた。 ② 奈良県文化財保護巡視委員と協力して監視活動を進める。	文化財課	
					12回									
	市民等との協働により、地域に残る史跡等の文化財の保全・活用に努めます。	20	文化財の清掃活動	6回/年 以上	A	100				100	市内2箇所の史跡公園をはじめ、史跡名勝天然記念物に指定された国県市指定文化財を中心に、市民選出の奈良県文化財保護指導委員による巡視及び監視活動を行っており、同委員からの報告に基づき、文化財の保全及び活用を行った。 ② 市民との協働により文化財の保存に努める。	文化財課		
				12回										

(4) 基本目標3「エネルギーや資源を大切にするライフスタイルに転換します」  
の結果について

●【基本目標3】 指標目標達成状況		
①環境指標数	5	(CD 21~25)
②総コマ数	20	(4コマ [1指標につき] × 5指標)
③達成コマ数	15	(塗りつぶされたコマ数)
④達成率 (%)	75.0%	( ③ / ② ) ※少数第2位切捨て

基本施策	事業	主な取組	指標		目標値	目標達成度	達成率 (%)					① 実施した事業内容とその成果 ② 次年度に向けた課題	担当課		
			CD	項目	令和6年度実績値	(A~E)	25	50	75	100	%				
3-1循環型社会の形成	①3Rの推進	ごみの減量化に向けた啓発を行うとともに、ごみ減量を効果的に推進するための仕組み等について検討します。	21	ごみの排出量(家庭系)	「香芝市総合計画」めざそう値(533 g/人・日)  585 g/人・日	B						75	① 3R推進月間に合わせ、3Rに関する広報記事を掲載するとともに、長期的な視点に立った取組として、若年層からごみ減量の意識付けを目指し、小学校での環境学習を実施した。 ② リユース及びリサイクルの推進を図るなど、ごみを発生させない取組を展開し、ごみの減少に繋げる必要がある。	廃棄物対策課	
		市民や事業所と協働し、地域の集団資源回収、小型家電、廃食油のリサイクル等の取り組みを推進します。	22	リサイクル率(家庭系)の向上	「香芝市総合計画」めざそう値(23%)  12.6%	C							50	① 小型家電回収、3Rに関する広報及び環境学習を通じたごみ分別の啓発を実施した。 P T A等各種団体による集団資源回収については、回収量及び団体数ともに前年度より減少した。 【計画策定時現況(H29)16.3%→(R5)13.1%→(R6)12.6%】 ② 新聞、雑誌等の取扱量の減少及び民間回収施設の増加により、リサイクル率減少にもつながっていることから、次回の計画目標値設定の際には、見直しを検討する必要がある。	環境政策課 廃棄物対策課
3-2地球温暖化対策の推進	①省エネルギー対策の推進	「香芝市地球温暖化対策実行計画」に基づいた省エネルギー対策を実施し、市主体の取り組みを推進します。	23	市の事務事業による温室効果ガス総排出量の削減	「香芝市地球温暖化対策実行計画」目標数値(2,747t-CO2)  3,811 t-CO2	C						50	① 各種節電対策や施設のLED化等の効果により、基準年度対比で約20.5%の削減となった。しかしながら、今季は冬型の気圧配置の影響で低温傾向となったため、各施設で灯油の使用料が増し、昨年度より温室効果ガス排出量が増加した。 ② 従来市の職員の率先行動に加え、公共施設の再エネ導入や電気自動車の導入についても検討していく必要がある。	環境政策課	
		持続可能な低炭素なまちづくりを促進するため、交通システムの見直しを行います。	24	「香芝市地域公共交通網形成計画」の策定	計画期間内に策定  —	A							100	① 目標(計画策定)は令和3年に達成しているため、「香芝市地域公共交通計画」に定めた事業メニュー「I-1 面的な地域公共交通サービスの維持・改善」等に取り組んだ。 ② 目標(計画策定)は令和3年に達成しているため、「香芝市地域公共交通計画」に定めた事業メニュー「I-1 面的な地域公共交通サービスの維持・改善」等に継続して取り組む。	都市政策交通課
		持続可能な低炭素なまちづくりを促進するため、低燃費なコミュニティバス車両を導入します。	25	最新の排出ガス規制適合車の導入	計画期間内に導入  —	A								100	① 目標(車両導入)は令和5年及び6年に達成しているため、導入(更新)した車両を長期にわたって良好な状態で使用し続けるために、車両の維持管理を徹底した。 ② 目標(車両導入)は令和5年及び6年に達成しているため、導入(更新)した車両を長期にわたって良好な状態で使用し続けるために、車両の維持管理を徹底する。

(5) 基本目標4「さまざまな主体が連携して環境保全に取り組みます」の結果について

て

●【基本目標4】 指標目標達成状況		
①環境指標数	6	(CD 26~31)
②総コマ数	24	(4コマ [1指標につき] × 6指標)
③達成コマ数	24	(塗りつぶされたコマ数)
④達成率 (%)	100.0%	( ③ / ② ) ※少数第2位切捨て

基本施策	事業	主な取組	指標		目標値 令和6年度実績値	目標達成度 (A~E)	達成率 (%)					① 実施した事業内容とその成果 ② 次年度に向けた課題	担当課
			CD	項目			25	50	75	100	%		
4-1主体の連携の促進	①情報発信の充実	広報紙、ホームページ、地域コミュニティ、行政窓口等、さまざまな手段を用いて、環境に関する啓発を行います。	26	環境をテーマとした情報の発信	テーマを決め 毎月実施	A					100	年間を通し時季に応じたテーマ（6月は環境月間、12月は地球温暖化防止月間等）を決めて広報活動を ① 実施した。 また、既存のホームページの内容について見直し、追加等を行い、内容の充実を図った。 ② 市内在住者は、広報紙により情報を伝達することが可能であるが、事業者や市内在学又は在勤者の方など市内在住者以外の者への周知手法が検討課題である。	環境政策課 廃棄物対策課
					100.0%								
	②環境学習・市民参加の推進	環境学習機会の創出を図ります。	27	市による学校での環境学習	【R5まで】 2回/年 以上 【R6から】 10回/年 以上	A					100	① 昨年度と同様、市内小学校10校の4年生を対象に、香芝市のごみの状況及び分別ルール等についてボランティア団体との協働で、環境学習を実施した。 ② 環境学習で学んだことを家族で話してもらってキッカケとなるような、子供を引きつける講義を行う必要がある。	環境政策課 廃棄物対策課
					10回								
		子どもの発達段階に応じて、小中学校における環境学習を進めるとともに、地域の市民団体等との協働により、環境学習の機会を図ります。	28	環境保全活動団体による環境学習の実施	1回/年 以上	A					100	① 小学校5年生を対象とする野外活動において、森林環境教育に係る環境学習を実施した。教科横断的な学習に取り組むことで、児童の森林に対する関心が高まり、森林保全への意識の向上が見られた。 ② 野外活動における環境学習にとどまらず、年間を通じた教科横断的な取組を継続的に行う必要がある。	学校教育課
					1回								
		自然や歴史・文化とふれあう機会となるよう、講演会等の催しを実施して分かりやすく伝えていくことを通じて、歴史環境の保全に協力を求めていく取り組みを進めていきます。	29	自然や歴史・文化とふれあう講座・講演会の開催	6回/年 以上	A					100	① 博物館の講演会やワークショップ、講座等を通じて、歴史や文化財に関する普及啓発活動を実施した。現地学習では、土地に根ざした歴史や自然環境に触れ合う良い機会となり、多くの参加者があった。 ② 多様化する市民のニーズに沿った事業を展開する。	文化財課
13回													
	市民等が環境を意識する機会を得られるよう、環境関連の催しを実施します。	30	ふれあいフェスタ等での環境意識向上に向けた取り組み	1回/年 以上	A					100	リユースを通じて環境を意識する機会の創出を目的とした、『ええもんクルっとミニコーナーの設置（市役所1F）、また、市民から不用物で出されたリサイクル品のオークションイベントを11月開催のふれあいフェスタで実施した。 ② 市民ニーズが高いことから、リユースイベントの拡大及び拡充を図る必要がある。	環境政策課 廃棄物対策課	
				2回 (内1回は常設)									
	食育や地産地消の一環として学校給食における地域食材利用の取り組みを実施します。	31	学校給食における地域食材利用の取り組み実施（食育の日）	【R5まで】 1回/年 以上 【R6から】 20回/年 以上	A					100	令和6年度の食育の日は、昨年度と同様に「郷土料理～日本の味めぐり～」をテーマとして取り組み、その他の行事においても地域の食材を利用した献立を提供した。 また、献立表に地域の食材の使用日が分かるように表記し、保護者にも周知することができた。 ① 猛暑や雨不足といった気候変動の影響により不作が多く、予定していた食材の使用ができなかったことにより、地域食材の使用回数が、昨年度より減少した。今後も気候変動の影響により、給食での使用回数の減少が危惧されるため、気候変動の影響を受けにくい食材の調達等につき調査研究を進める必要がある。 ②	保健給食課	

### 第3 指標設定のない主な取組の達成状況

#### 1 達成状況の確認方法について

指標を設定していない主な取組についても、第1の5で設定した手法と同様に、評価年度に実施した事業内容とその成果及び指標の目標達成状況等を総合的に判断し、各担当所管課において、次のAからEまでのうちから達成状況を選択するとともに、それぞれ実施した事業内容及びその成果並びに次年度に向けた課題について、記述式でまとめる確認方法を実施している。

区分	事業の状態	
	指標設定のない取組	達成率 (%)
A	確実に取り組んでいる	100
B	ほぼ取り組んでいる	75
C	だいたい取り組んでいる	50
D	あまり取り組んでいない	25
E	全く取り組んでいない	0

達成状況一覧表には、AからEまでを達成率（％）に読み替えて表示

#### 2 基本目標別の達成状況の結果まとめについて

基本目標別の指標達成状況をまとめた結果については、次のとおりである。

基本目標	指標設定のない 主な取組数	達成率
基本目標 1	10	83.9%
基本目標 2	15	80.5%
基本目標 3	16	85.5%
基本目標 4	2	75.0%
計	43	83.0% ※少数第2位切捨て

#### 第4 課題と今後の取組について

指標の達成状況については「第2 令和6年度の評価結果について」で示したとおり、主な取組ごとに5段階での評価を実施している。令和6年度は、目標達成度（区分）の「A 目標が達成された」から「C 目標未達成だが、取組・進捗状況（中程度）」までの合計は100%となり、昨年度の97%と比較しても全項目において進捗が見られる。

しかしながら、昨年度比較では「A 目標が達成された」は3.2%減少し、「B 目標未達成だが、取組・進捗状況（高い）」は3.3%減少した。「C 目標未達成だが、取組・進捗状況（中程度）」は9.7%増加しており、担当課での目標達成に向けて苦慮している結果となっている。

基本目標1の項目「新たな担い手への農地集積・集約化の面積」については、担い手が少なく継続して達成することが厳しい状況であるため、本市が管理を任される特定農地を活用し、担い手への集積も念頭に入れながら引き続き事業推進をしていく必要がある。

基本目標2の項目では「下水道普及率」及び「市内主要河川の水質（BOD）の環境基準達成率」が「C 目標未達成だが、取組・進捗状況（中程度）」に下がったが、補助金の減額や検査時期など外的要因が大きいと思われるため、今後改善が見込まれる。

基本目標3の項目「リサイクル率（家庭系）の向上」が昨年度と同じ「C 目標未達成だが、取組・進捗状況（中程度）」となったが、要因としてコロナ禍で減少したPTA等各種団体による集団資源回収量の低迷、新聞、雑誌等の取扱量の減少や民間回収施設の増加が考えられるため、引き続き3Rに関する広報紙等による周知啓発に努める。

また、基本目標4の項目など、目標達成度（区分）の「A 目標が達成された」となった項目についても継続して事業を進めるとともに、達成状況の低い取組の改善を図る。